 **Point** では、赤字・緑字の部分にマーカーをひいて、ポイントを確認しましょう。

 **Check** のところは、赤字・緑字の部分を書き込みましょう。

Leçon 15 のメニュー

1. 直説法大過去

2. 代名詞 en

【自律学習コーナー】

1. 代名詞 en (つづき)

2. en と le, la, les の使い分け

1. 直説法大過去

大過去形の作り方

過去の出来事をあらわすもうひとつの時制を見てみましょう。複合過去、半過去、そして3番目は「大過去」です。大過去は形も用法も英語の過去完了とよく似ています。まずは、大過去の形からマスターしましょう。大過去は次のような形をしています。

 **Check** 大過去

大過去＝

助動詞 avoir と être の使い分け

複合過去や大過去を作るときの、助動詞 avoir と être の使い分けを表にすると次のようになります。


 **Check** 助動詞 avoir と être の使い分け

・ 移動をあらわす一部の自動詞 ・ すべての代名動詞	→ 助動詞
・ その他の自動詞 ・ すべての他動詞	→ 助動詞

確認練習 : L15-1-1

大過去形の作り方 : 活用

では、お待たせしました。大過去形の活用形を作ってみましょう。まずは、「avoir の半過去形＋過去分詞」の大過去です。

 **Check** **danser 「踊る」の大過去形**

j'	nous
tu	vous
il	ils
elle	elles

こんどは助動詞が「 être の半過去形＋過去分詞」の大過去です。

 **Check** **partir 「出発する」の大過去形**

j'	nous
tu	vous
il	ils
elle	elles

確認練習 : L15-1-2 (Exercice 1)

大過去の用法

大過去は次のような場合に使われます。

 **Check** 大過去の用法 1

1) _____ をあらかず場合

Le train était parti quand je suis arrivé à la gare.

訳：私が駅に着いたとき、

 **Check** 大過去の用法 2

2) _____ をあらかず場合

Quand mon mari avait fini de travailler, nous allions faire des courses.

訳：夫が仕事をおえてから、

 **Check** 大過去の用法 3

3)

場合

Elle m'a dit qu'elle s'était mariée avec Jean-Marc.

訳： _____ と私に言いました。

■大過去形の用法：まとめ

では、ここで大過去の用法をまとめておきましょう。

 **Check** 大過去形の3つの用法 まとめ

1) 過去のある時点にすでに完了している出来事をあらかず場合

Le train _____ quand je suis arrivé à la gare.

訳：私が駅に着いたとき、電車は発車してしまっていた。

2) 過去の習慣的行為に先立つ別の習慣的行為をあらかず場合

Quand mon mari _____ de travailler, nous allions faire des courses.

訳：夫が仕事をおえてから、いっしょに買い物に行ったものだ。

3) 主節の動詞が過去で、従属節 (que...) の出来事が主節よりも以前のことである場合

Elle m'a dit qu'elle _____ avec Jean-Marc.

訳：彼女はジャン・マルクと結婚したと私に言いました。

確認練習 : L15-1-3 (Exercice 2)

2. 代名詞 en

en の用法

en の用法は大きく 2 つに分けることができます。

 Check 2 種類の用法

- 1) のかわり
 - a) 「不定冠詞 des・部分冠詞＋名詞」全体のかわり
 - b) 「数詞・数量表現 ＋名詞」の名詞のかわり
- 2) のかわり

■2 種類の用法 1) 直接目的語のかわり

それでは en の用法をもっとくわしく見てみましょう。まずは直接目的語のかわりをする en の最初の a) の用法です。

 Check 1) a) の用法 直接目的語「不定冠詞 des ＋名詞」のかわり

en は、 の働きをしている のかわりをする。

をする場合：

- Tu mange des escargots ?
 - Oui, j' mange. (← je mange des escargots)
- 訳：きみはカタツムリを食べるかい？
ええ, 食べます。

■先生、質問！

「un (une) ＋名詞」の場合は en を用いて代名詞化できないのですか？

次の例を見てください。

- Tu as combien de frères ?
- 訳：きみは男のきょうだいが何人いるの？
- J'en ai un.
- 訳：1 人いるよ

このように、un は代名詞化されずに残ります。

この場合、un (une) は数詞と見なされていて、自律学習コーナーで説明する b) の規則が適用されています。

同じように目的語全体が代名詞化される例をもうひとつ見てみよう。



1) a) の用法 直接目的語「部分冠詞＋名詞」のかわり

をする場合：

- Vous avez pris du café ?

- Non, je n' ai pas pris. (← je n'ai pas pris **de café**)

訳：あなたはコーヒーを飲みましたか？

いいえ、私は飲んでいません。

■en の位置 1

ここで、代名詞 en の残りの用法は自律学習コーナーで見ることにして、代名詞 en の文中での位置について見てみましょう。



en の位置

1) +

2) + +過去分詞

3) + +不定詞

Je mange **des escargots**.

→ J' mange.

J'ai mangé **des escargots**.

→ J' ai mangé.

Je vais manger **des escargots**.

→ Je vais manger.

Je voudrais manger **des escargots**.

→ Je voudrais manger.

■先生、質問！

間接目的語の代名詞があるときは、en はどこに置くのですか？

間接目的語の代名詞があるときは、次の語順になります。

主語＋目的格人称代名詞＋ en ＋動詞

Je te donne des **bonbons**. → Je t'**en** donne.

きみにボンボンをあげます。

とにかく， en は動詞の直前に置くということだね。

■en の位置 2 否定文・疑問文中の位置

今度は、否定文と疑問文中の en 位置を見てみましょう。



1) en ＋動詞否定文・疑問文中の位置

否定文：主語 ＋ ＋ 動詞 ＋ pas ...

倒置疑問文： ＋ 動詞 ＋ 主語 ... ?

Je ne mange pas **d'escargots**. → Je mange pas.

Mangez-vous **des escargots** ? → mangez-vous ?

■先生、質問！

肯定の命令文ときは， en はどこに置くのですか？

肯定の命令文のときは，他の目的格の代名詞と同じように en も動詞の後に置きます。

動詞＋目的格人称代名詞＋ en

Donne-moi **des bonbons**. → Donne-m'**en**.

私にボンボンをください。

moi-en ではなくて， m'en になるところに注意だね！

確認練習：L15-2-1 (Exercice 3)

自律学習コーナー

1. 代名詞 en (つづき)

■2種類の用法 1) 直接目的語のかわり (つづき)

代名詞 en の用法は大きく2つに分けることができました。

1) 直接目的語のかわり

2) 前置詞句「de ～」のかわり

そして、さらに「1) 直接目的語のかわり」は2つに分けることができました。

a) 「不定冠詞 des・部分冠詞＋名詞」全体のかわりに

- b) 「数詞・数量表現 + 名詞」の名詞のかわりに
a) の用法はすでに見ました。ここでは、まず b) の用法を見てみましょう



1) b) の用法 直接目的語「数詞・数量表現 + 名詞」の名詞のかわり

en は、直接目的語の働きをしている「
」の
のかわりをする。
最初は、「数詞 + 名詞」の名詞のかわりをする例です。

- Vous voulez combien d'huîtres ?

- J' voudrais . (← je voudrais six huîtres)

訳: カキはいくつ欲しいですか?

6つ欲しいのですが。

■先生、質問!

「un(e) + 名詞」はどうなるのですか?

いい質問ですね! 「un(e) + 名詞」にも同じルールが適用されます。

- Vous avez des enfants ?

- Oui, j'en ai un. (← Oui, j'ai un enfant.)

お子さんはいますか?

ええ、一人います。

直接目的語が「un(e) + 名詞」の場合は、全体を en で置き換えることは、
ふつうはできなくて、代名詞化されるのは名詞の部分だけであることに注意
ですね。un(e) を数詞(「ひとつ」、「一人」とみなすのだね。

さて、2つの用法はどこが違うのでしょうか?



直接目的語のかわりをする2つの用法の違い

1) 直接目的語の働きをしている

a) 「不定冠詞 des・部分冠詞 + 名詞」
のかわりに

b) 「数詞・数量表現 + 名詞」の のかわりに
 Je mange . → J' mange.
 Je voudrais six . → J' voudrais six.

同じように、目的語の一部だけが代名詞化される例をもうひとつ見てみましょう。



1) b) の用法 直接目的語「数詞・数量表現 + 名詞」の名詞のかわり
 (つづき)

直接目的語「数詞・数量表現 + 名詞」の名詞のかわりをする用法、次は、「
 」の のかわりをする例です。

- Tu n'as pas de DVD ?
- Si, j' ai beaucoup. (← j'ai beaucoup de DVD)
 訳：きみは DVD を持っていないの？
 いいえ、たくさん持っているわ。

■先生、質問！

例文で使われていた si って何ですか？

ここの例文のような否定の疑問文に、肯定の意味で答えるには普通は oui の代わりに si を使います。

- Tu ne sors pas ?
- Si, je vais sortir avec Luc.
 出かけないの？
 いいえ、リュックと出かけるわよ。

まとめると次のようになります。

	肯定疑問	否定疑問
肯定の答え	oui	si
否定の答え	non	non

否定疑問文に否定で答えるときには、肯定疑問文

訳：きみは試験勉強する必要があるの？
うん、（その）必要があるよ。

確認練習：L15-1-3 (Exercice2) (自律学習)

確認練習：L15-1-4 (自律学習)

2. en と le, la, les の使い分け

en は、直接目的語になっている「不定冠詞 des・部分冠詞＋名詞」のかわりをしますが、le, la, les はどうだったかな？

Je ne connais pas cette jeune fille. Tu **la** connais ?

(← Tu connais **cette jeune fille** ?)

- Tu étudies le français ?

- Oui, je l'étudie depuis un an.

(← j'étudie **le français** depuis un an)

Point

指示形容や定冠詞のついた名詞句を「定名詞句」、不定冠詞や部分冠詞のついた名詞句を「不定名詞句」と言います。le, la, les を用いるのは目的語になっている直接目的語が定名詞句の場合で、en を用いるのは不定名詞句の場合ということですね。

Check

en と le, la, les の使い分け

1) 定名詞句（定冠詞・指示形容詞・所有形容詞＋名詞）、固有名詞

→

2) 不定名詞句（不定冠詞・部分冠詞＋名詞）

→

確認練習：L15-2-1 (自律学習)

■先生、質問！

en は名詞の性・数には関係ないのですか？

関係ないのです。en は名詞の性・数に関係なく使うことができます。それで、「中性代名詞」と呼ばれることもあります。名詞の性・数に応じて使い

分けなければならない le, la, les とこの点も違ってきますね。また, en は中性だから, 過去分詞の前に置かれても, 過去分詞は一致しません。

J'ai visité la tour Eiffel il y a deux ans.

→× Je l'ai visité il y a deux ans.

○ Je l'ai visitée il y a deux ans.

J'ai acheté des carottes .

→○ J' en ai acheté.

× J' en ai achetées.

Exercice Synthétique